

平成15年4月1日

各 位

会 社 名 株式会社 クラレ
代表者名 取締役社長 和久井 康明
コード番号 3405
上場取引所 東証・大証第一部 他
問合せ先 IR・広報部長 前田 公平
TEL . 03 - 3277 - 3100

通期業績予想の修正および特別損失の主な内容について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成14年11月12日の中間決算発表時に公表した業績予想の修正および特別損失の主な内容につき、下記の通りお知らせします。

記

1.平成15年3月期通期業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年11月12日発表)	200,000	12,500	13,500	6,000
今回修正予想(B)	200,000	12,500	13,500	3,500
増減額(B-A)	0	0	0	2,500
増減率	-	-	-	41.7%
前期(平成14年3月期)実績	220,983	11,055	14,426	1,670

2.平成15年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成14年4月1日～平成15年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成14年11月12日発表)	330,000	24,500	22,000	10,000
今回修正予想(B)	330,000	24,500	22,000	7,000
増減額(B-A)	0	0	0	3,000
増減率	-	-	-	30.0%
前期(平成14年3月期)実績	305,861	18,957	18,823	2,866

3. 修正の理由および特別損失の主な内容

(1) 修正の理由

営業利益および経常利益については、平成 14 年 11 月 12 日に公表した業績予想と変更ありません。

一方、当社の保有する株式のうち、金融機関等の株式で時価が著しく下落し回復が見込めない銘柄について、当期末に減損処理を実施することにより、単独、連結とも約 41 億円の株式評価損が新たに発生し、これを特別損失に計上する見込みであります。

この結果、当期純利益は前回発表の業績予想に対して減益となり、単独で 35 億円、連結で 70 億円となる見込みであります。

(2) 特別損失の主な内容

上記(1)の株式評価損を含め、投資有価証券評価損として単独、連結とも約 50 億円(うち約 9 億円は平成 15 年 3 月期中間期に計上済)を特別損失に計上する見込みであります。

また、ポリエステル短繊維事業の再構築のため生産工場である倉敷事業所(玉島)を分社するなどにより、構造改善特別損失が単独で約 37 億円(うち約 18 億円は平成 15 年 3 月期中間期に計上済)、連結で約 41 億円(うち約 22 億円は同中間期に計上済)発生し、これを特別損失に計上する見込みであります。

これらのうち、上記(1)の新たに発生した株式評価損を除く投資有価証券評価損、および構造改善特別損失は、前回発表の業績予想に織り込み済であります。

以 上